

これからの日本、
そしてこれからの鹿児島県の経済・経営、
外国との関係の結び方について考える。

〈危機〉の時代における 海外へのまなざし

— 明治と現代、そして鹿児島 —

2024年

11月4日 月・祝

13:30~17:00 (開場 13:00)

会場 鹿児島大学
キミ&ケサメモリアルホール
(稲盛会館)

参加費無料

参加者受付フォーム

会場でのご参加を希望される方は10月27日までに事前申し込みが必要となります。



YouTubeチャンネル

オンラインでのご参加を希望される方は事前申し込みは不要です。



お問い合わせ先

「鹿児島の近現代」教育研究センター

TEL: 099-285-7532 E-mail: kingendajim@leh.kagoshima-u.ac.jp

主催/鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター

後援/MBC南日本放送 KTS鹿児島テレビ KKB鹿児島放送 KYT鹿児島読売テレビ
鹿児島県教育委員会 鹿児島市教育委員会 南日本新聞社 鹿児島観光コンベンション協会
鹿児島県観光連盟 鹿児島市商工会議所 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター

詳細はこちら



国立大学法人
鹿児島大学
KAGOSHIMA UNIVERSITY

〈危機〉の 時代における 海外へのまなざし

— 明治と現代、そして鹿児島 —

企画概要

本シンポジウムでは、「危機」の時代を克服した先人たちの行動について改めて認識するため、日本が行った西洋の制度の導入、外国人材の活用法を参考にしながら、多彩なゲストスピーカーを迎え、近代と現代を比較対照させながら、今後の日本および鹿児島が取るべき外国との関係のあり方、経済の活性化の方策などについて広く議論を行います。

プログラム

- 13:30 開会あいさつ
13:40 企画趣旨説明
13:50 基調講演①
「The Meiji Experiment: Foreign Experts and the Japanese Imperial Mint
明治政府の実験的試みーお雇い外国人と日本造幣局」
ロイ・ハナシロ(ミシガン大学名誉教授)
○通訳: 西村知(東海大学文理融合学部教授)
- 14:40 休憩
14:50 基調講演②「薩摩藩の近代化とその背景」
島津忠裕(島津興業代表取締役社長)
- 15:40 休憩
15:50 トークセッション「近代の鹿児島と現代の鹿児島における世界の見方について」
ロイ・ハナシロ(ミシガン大学名誉教授)
島津忠裕(島津興業代表取締役社長)
宮之原明子(株式会社清友および株式会社ミエルカ代表取締役)
サンディー・ユハス(始良市クリエイティブアドバイザー)
○司会: 松田忠大(「鹿児島の近現代」教育研究センター副センター長)
○通訳: 西村知(東海大学文理融合学部教授)
- 16:35 会場からの質問
16:50 閉会のあいさつ
17:00 閉会

登壇者紹介



Roy Hanashiro(ロイ・ハナシロ)

ミシガン大学名誉教授。1976年ハワイ大学マノア校卒業。1978年同大学修士課程修了。1988年博士号取得後、1989年からミシガン大学フロント校に35年間勤務し、15年間にわたり同大学歴史学部長、福岡大学、小樽商科大学、ハワイ大学で客員講師を務め、長く雑誌「Studies on Asia」の編集長を担当。専門は近代日本およびアジア経済史。アメリカだけでなく、イギリス、日本の学術機関で研究を行う。明治時代の「お雇い外国人」などを研究テーマとする。著書に「Thomas William Kinder and The Japanese Imperial Mint, 1868-1875」 Brill Academic Pub, 1999など。



島津 忠裕(しまづ ただひろ)

島津興業代表取締役社長。島津家第33代。1996年慶応義塾大学経済学部卒業後、株式会社日本興業銀行(現みずほ銀行)入行。2004年島津興業入社。2008年取締役、2015年より現職。主な業務は島津興業が運営する仙巖園・尚古集成館のブランディング。所有資産「旧集成館」の世界遺産登録に向けた活動を行い、2015年世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として登録実現。島津家歴代当主を祀る鶴嶺神社の宮司も務める。裏千家淡交会鹿児島支部支部長。



宮之原 明子(みやの はら あきこ)

株式会社清友および株式会社ミエルカ代表取締役。鹿児島純心女子短期大学卒業後、家業である人材サポート会社 株式会社清友に入社。イベント・モデル・デモンストレーション事業など新規事業に積極的に取り組み、接客・販売指導など1.5万人を超えるスタッフへの指導を行う。魅力ある人材を育成する「魅力学」講師として、各種の講座やコミュニケーションコンサルティングを実施。関わるすべての方のお役に立つという「for you」精神のもと国内外の多方面で活躍。現在は社会福祉事業にも精力的に取り組む。著書に『好かれるリーダーに変わる50の技術 人手不足を解消するチームのつくり方』(セルバ出版、2023年)がある。



Sandy Juhasz(サンディー・ユハス)

始良市クリエイティブアドバイザー。ハンガリーの首都ブダペスト出身。来日20年を迎える。日本とハンガリーの架け橋的存在。鹿児島県在住で、県内唯一のハンガリー人。国際ジャーナリスト。ハンガリー最古のメディア組織ハンガリー記者クラブ「MUOSZ」の正会員。社会貢献への関心が高く、ハンガリーに日本の古本を送ることで国際交流を促進する「本ノコテ」プロジェクトを主導し、ブダペスト最大の日本書籍大学図書館をつくる。世界における日本の存在をアピールすることを願い、日々活動の幅を広げている。

会場

鹿児島大学
キミ&ケサメモリアルホール
(稲盛会館)

鹿児島市郡元1丁目21番30号

大学構内に駐車場はございません。
公共交通機関もしくはパーキングをご利用ください。

